

NSK

2014年3月期 決算説明会

日本精工株式会社
2014年5月14日



本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

- 1 . 2014年3月期実績
- 2 . 2015年3月期予想
- 3 . 第4次中期経営計画の取組み状況
(補足資料)

1. 2014年3月期実績

事業環境

- ✓ 新興国の成長鈍化の一方、先進国で緩やかな景気回復
- ✓ 産業機械事業：緩やかな回復基調継続
- ✓ 自動車事業：地域差あるものの全体として堅調な拡大
- ✓ 円高の修正による追い風享受

決算サマリー

- ✓ 売上高 8,717億円(前期比+19.0%) / 営業利益 680億円(同+110.3%)
経常利益 668億円(同+120.3%) / 当期利益 312億円(同+98.0%)
 - ・ 対前年 増収増益
 - ・ 売上高、経常利益は過去最高
- ✓ セグメント別業績
 - ・ 産業機械事業：回復継続し、増収増益
 - ・ 自動車事業：過去最高の業績
- ✓ 配当 14/3期 年間 16.0円(前半 7円、後半 7円 9円)

2014年3月期 通期業績サマリー



(億円)	13/3期 <実績>	14/3期 <実績>	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	7,328	8,717	+1,389	+19.0%
営業利益 <営業利益率>	324 <4.4%>	680 <7.8%>	+356	+110.3%
経常利益	303	668	+365	+120.3%
税引前利益	253	543	+290	+114.8%
当期純利益	157	312	+155	+98.0%
(換算レ-ト1US\$=)	(¥ 83.10)	(¥ 100.24)		
(" 1EURO=)	(¥ 107.14)	(¥ 134.37)		

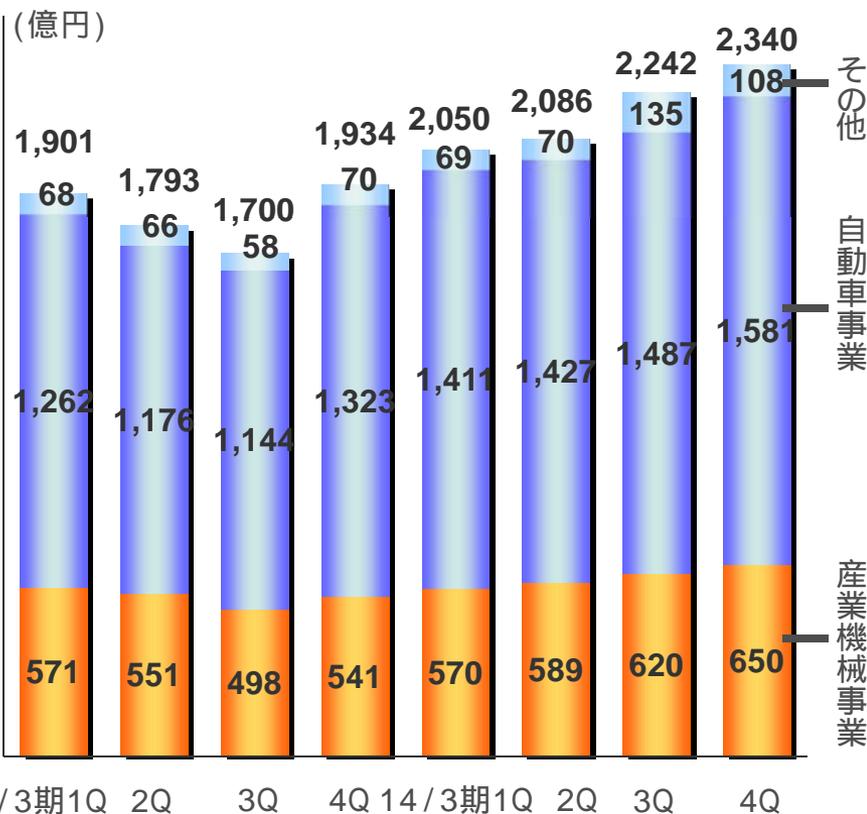
【主要指標】

ROE	5.2%	9.2%		
Net D/E レシオ	0.51倍	0.41倍		
棚卸回転数	6.2回転	6.9回転		

売上高・営業利益 四半期推移

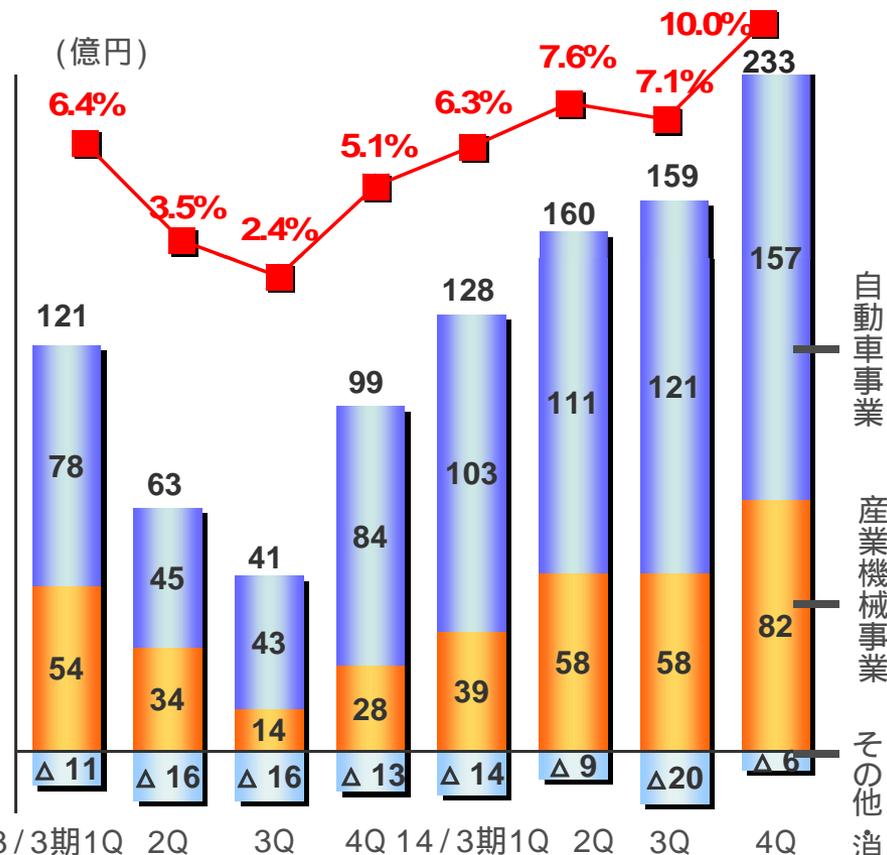
売上高

産業機械・自動車ともに増収基調継続
産機向けも通期の物量レベルで前年超え



営業利益 / 営業利益率

営業利益は四半期毎 対前年増益幅拡大
4Qは額・率ともに過去最高



US\$= ¥80.20 ¥78.62 ¥81.18 ¥92.40 ¥98.76 ¥98.94 ¥100.47 ¥102.79

US\$= ¥80.20 ¥78.62 ¥81.18 ¥92.40 ¥98.76 ¥98.94 ¥100.47 ¥102.79

EURO=¥102.91 ¥98.37 ¥105.23 ¥122.05 ¥128.95 ¥131.05 ¥136.69 ¥140.79

EURO=¥102.91 ¥98.37 ¥105.23 ¥122.05 ¥128.95 ¥131.05 ¥136.69 ¥140.79

売上高・営業利益 [事業セグメント別]



(億円)	13/3期 <実績>	14/3期 <実績>	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	7,328	8,717	+1,389	+19.0%
産業機械事業	2,161	2,430	+269	+12.4%
産業機械軸受	1,831	2,057	+226	+12.3%
精機製品	330	373	+43	+12.8%
自動車事業	4,905	5,905	+1,000	+20.4%
自動車軸受	2,365	2,780	+415	+17.6%
自動車部品	2,540	3,125	+585	+23.0%
その他	533	647	+114	+21.4%
消去	-271	-265	+6	-
営業利益	324 <4.4%>	680 <7.8%>	+356	+110.3%
産業機械事業	130 <6.0%>	237 <9.8%>	+107	+82.1%
自動車事業	250 <5.1%>	492 <8.3%>	+242	+96.9%
その他	22 <4.1%>	29 <4.5%>	+7	+34.0%
全社費用	-78	-78	+0	-

営業利益 増減内訳 ('13/3期 '14/3期)

NSK

'14/3期

680億円

為替影響

+197

外部調達費用
削減他の効果

+114

物量増等

+172

その他費用
増加

57

売価
ダウン

70

324億円

'13/3期

△127億円

前年同期差額
+356億円

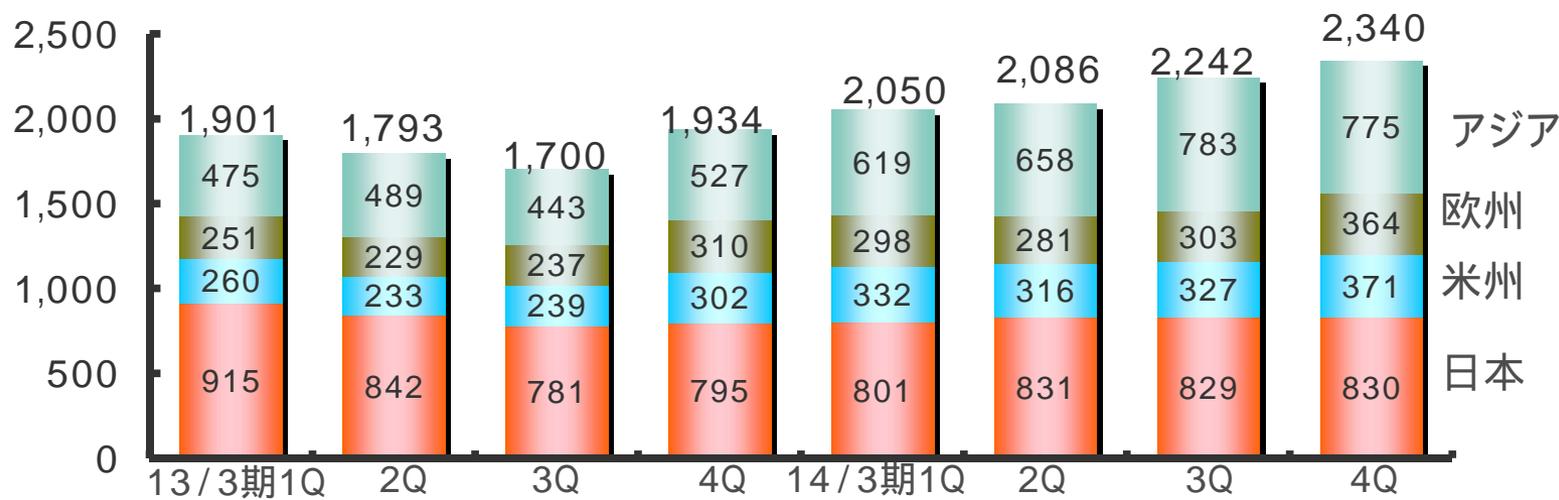
+483億円

売上高 [顧客地域別]

(億円)	13/3期 <実績>	14/3期 <実績>	対前年増減額	対前年伸び率
売上高	7,328	8,717	+1,389	+19.0%
日本	3,333	3,291	-42	-1.3%
海外合計 (海外比率)	3,995 (54.5%)	5,426 (62.2%)	+1,431	+35.8%
米州	1,034	1,345	+311	+30.1%
欧州	1,027	1,246	+219	+21.4%
アジア (アジア比率)	1,934 (26.4%)	2,835 (32.5%)	+901	+46.5%
内、中国	914	1,672	+758	+82.9%

(億円)

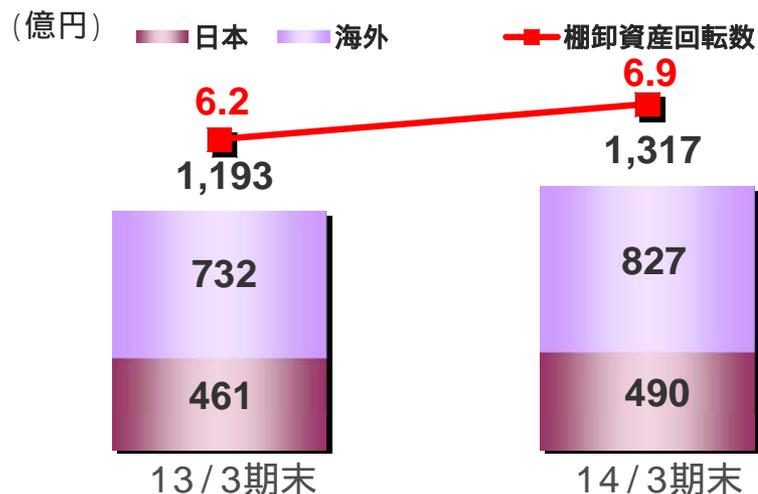
《顧客地域別売上高 四半期推移》



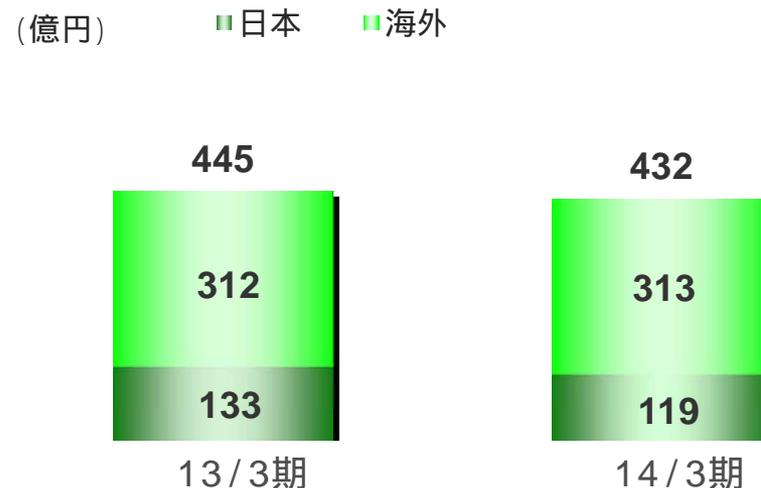
棚卸資産 / 有利子負債、設備投資 / 減価償却費



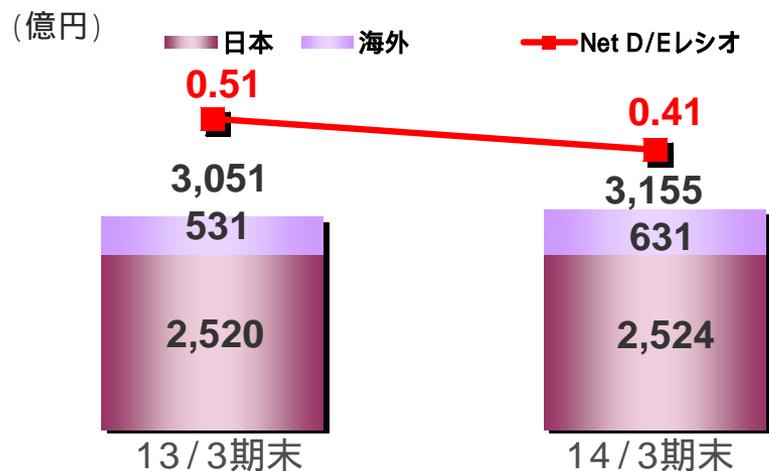
棚卸資産



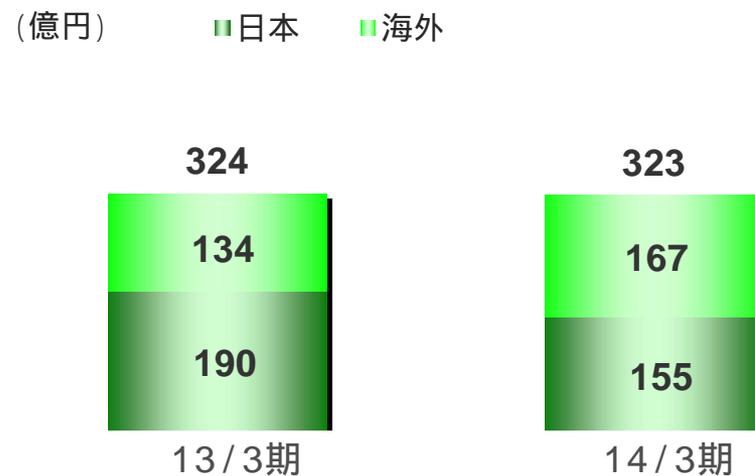
設備投資



有利子負債



減価償却費



2. 2015年3月期通期予想

通期業績予想

- ✓ 売上高 9,100億円(前期比+4.4%) / 営業利益 750億円 (同 +10.3%)
経常利益 720億円(同 +7.8%) / 当期利益 500億円 (同 +60.3%)
- ✓ 対前年 増収増益、売上高・各利益項目過去最高を予想
- ✓ 為替前提：US\$=100円、EURO=135円
- ✓ 増配 年間配当 20円(上期 10円、下期 10円)

事業環境見通し

- ✓ 日本は消費税影響により一旦需要減退後、回復軌道に復帰
米国は緩やかな拡大、欧州回復基調維持、中国安定成長
- ✓ 産業機械事業：
 - ・対前年回復傾向を見込むも、スピードは緩やか
- ✓ 自動車事業：
 - ・国内生産は消費税影響もあり対前年マイナス
 - ・一方、欧州の回復と堅調な米国・中国を背景にグローバルでプラス

2015年3月期 通期予想



(億円)	14/3期			15/3期			対前期 増減額	対前期 伸び率
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <予想>	後半 <予想>	通期 <予想>		
売上高	4,136	4,581	8,717	4,440	4,660	9,100	+383	+4.4%
営業利益 <営業利益率>	288 <7.0%>	392 <8.6%>	680 <7.8%>	330 <7.4%>	420 <9.0%>	750 <8.2%>	+70	+10.3%
経常利益	281	387	668	315	405	720	+52	+7.8%
税引前利益	248	295	543	315	405	720	+177	+32.6%
当期純利益	147	165	312	215	285	500	+188	+60.3%
(換算レ-ト1US\$=)	(¥98.85)	(¥101.63)	(¥100.24)	(¥100)	(¥100)	(¥100)		
(" 1EURO=)	(¥130.00)	(¥138.74)	(¥134.37)	(¥135)	(¥135)	(¥135)		

2015年3月期 通期予想 [事業セグメント別]

(億円)	14/3期			15/3期			対前期 増減額	対前期 伸び率
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <予想>	後半 <予想>	通期 <予想>		
売上高	4,136	4,581	8,717	4,440	4,660	9,100	+383	+4.4%
産業機械事業	1,159	1,271	2,430	1,240	1,310	2,550	+120	+4.9%
産業機械軸受	985	1,072	2,057	1,050	1,100	2,150	+93	+4.5%
精機製品	174	199	373	190	210	400	+27	+7.2%
自動車事業	2,838	3,067	5,905	2,990	3,160	6,150	+245	+4.1%
自動車軸受	1,352	1,428	2,780	1,425	1,520	2,945	+165	+5.9%
自動車部品	1,486	1,639	3,125	1,565	1,640	3,205	+80	+2.6%
その他	273	374	647	345	305	650	+3	+0.5%
消去	-134	-131	-265	-135	-115	-250	+15	-
営業利益	288 <7.0%>	392 <8.6%>	680 <7.8%>	330 <7.4%>	420 <9.0%>	750 <8.2%>	+70	+10.3%
産業機械事業	97 <8.4%>	140 <11.0%>	237 <9.8%>	125 <10.1%>	160 <12.2%>	285 <11.2%>	+48	+20.3%
自動車事業	214 <7.6%>	278 <9.1%>	492 <8.3%>	240 <8.0%>	270 <8.5%>	510 <8.3%>	+18	+3.7%
その他	14 <5.1%>	15 <4.0%>	29 <4.5%>	15 <4.3%>	20 <6.6%>	35 <5.4%>	+6	+20.7%
全社費用	-37	-41	-78	-50	-30	-80	-2	-

営業利益 増減内訳 ('14/3期 '15/3期予想)

(億円)

前年同期差額
+70億円

'15/3期予想

750億円

外部調達費用
削減他

+95

物量増等

+155

+250億円

'14/3期

680億円

売価
ダウン

80

その他
費用増加

100

△180億円

2015年3月期予想 [顧客地域別売上高]



(億円)	14/3期			15/3期			対前期 増減額	対前期 伸び率
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <予想>	後半 <予想>	通期 <予想>		
売上高	4,136	4,581	8,717	4,440	4,660	9,100	+383	+4.4%
日本	1,632	1,659	3,291	1,570	1,635	3,205	-86	-2.6%
海外合計 (海外比率)	2,504 (60.5%)	2,922 (63.8%)	5,426 (62.2%)	2,870 (64.6%)	3,025 (64.9%)	5,895 (64.8%)	+469	+8.6%
米州	648	697	1,345	695	735	1,430	+85	+6.3%
欧州	579	667	1,246	630	675	1,305	+59	+4.7%
アジア (アジア比率)	1,277 (30.9%)	1,558 (34.0%)	2,835 (32.5%)	1,545 (34.8%)	1,615 (34.7%)	3,160 (34.7%)	+325	+11.5%
うち中国	701	971	1,672	945	970	1,915	+243	+14.5%

3. 第4次中期経営計画の取組み状況

第4次中期経営計画の骨子

1兆円を支える企業基盤の確立

事業戦略

収益重視の成長

新興国での成長

顧客戦略・セクター戦略強化

生産力・技術開発力

戦略的提携

産業機械事業

自動車事業

経営基盤

1兆円の物量を回す管理能力構築

ガバナンス充実・コンプライアンス強化

事業構造改革

グローバルマネジメントの進化

生産・販売・管理
新システム

事業/地域
マネジメント

安全・品質・コンプライアンス

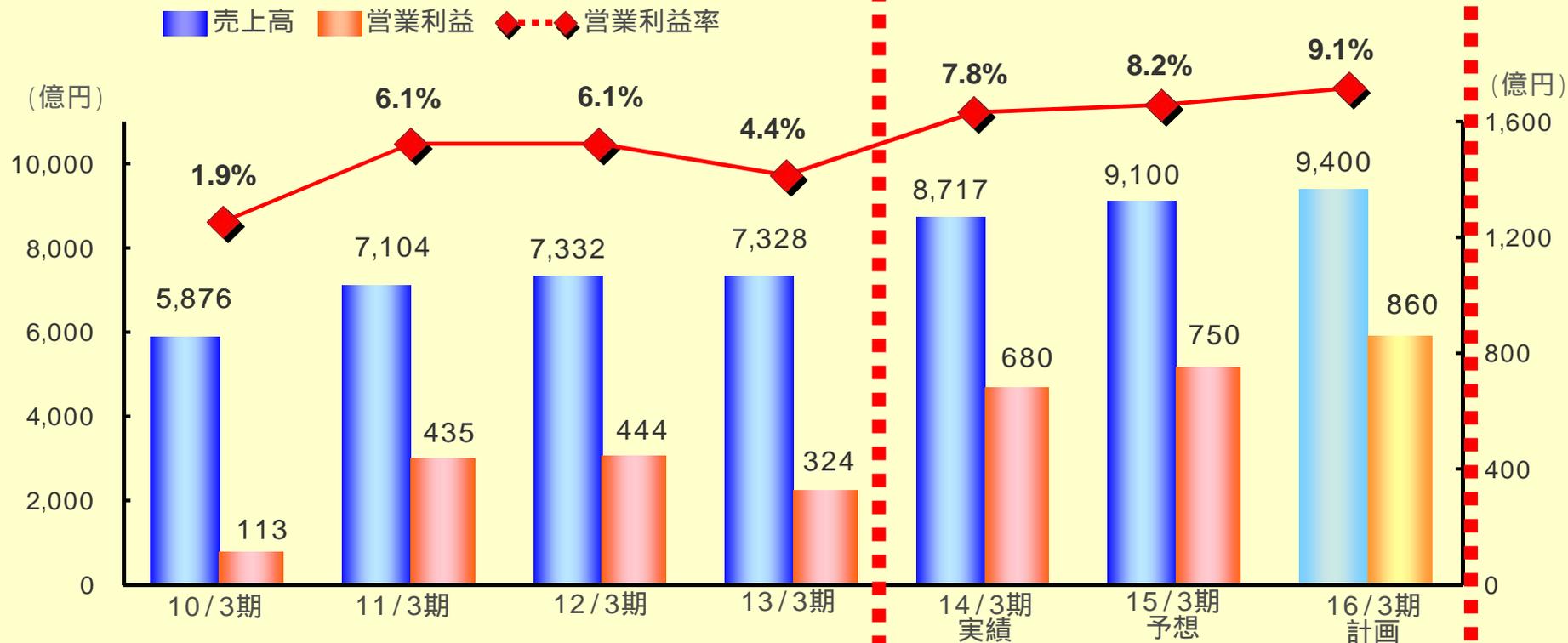
《第4次中期計画 数値目標》

	2016年3月期
売上高	9,400億円
営業利益	860億円
経常利益	800億円
当期純利益	520億円
営業利益率	9.1%
ROE	13.0%
Net D/E レシオ	0.40倍
為替前提	US \$ = 90円 ユーロ = 120円

第4次中期経営計画 業績推移

第3次('09-'12年度)中期経営計画

第4次('13-'15年度)中期経営計画



ROE	2.0%	10.3%	10.6%	5.2%	9.2%
Net D/E	0.73倍	0.60倍	0.58倍	0.51倍	0.41倍

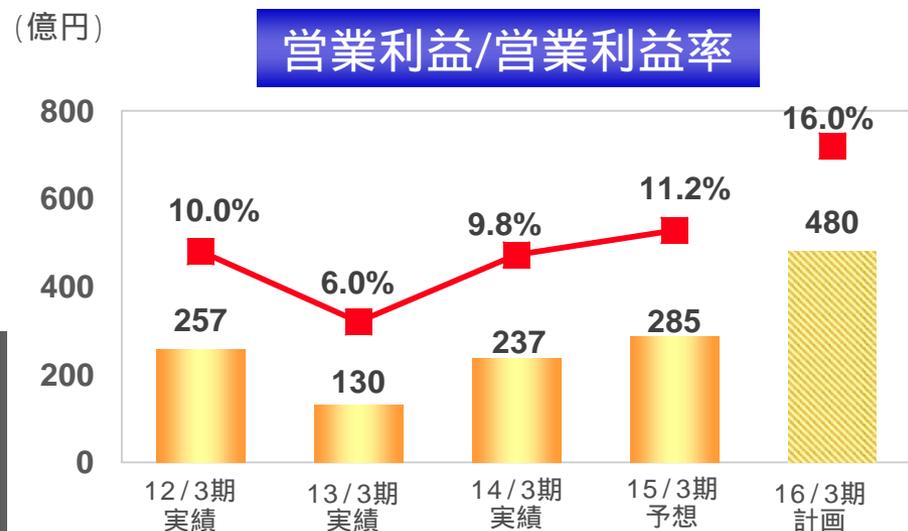
13.0%
0.40倍

\$	92.83	85.63	79.02	83.10	100.24	100	90
ユーロ	130.89	112.92	109.40	107.14	134.74	135	120

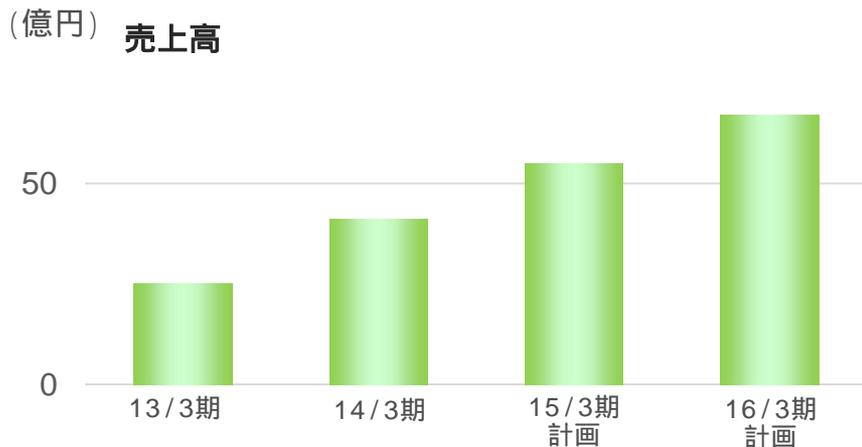
【セクター別需要動向】 FY13・FY14比較

セクター	全体	日本	海外
電機/情報	→	→	→
鉄鋼	→	→	→
流体	→	→	→
鉱山/建機	→	→	→
農機	→	→	→
風車	→	→	→
車両	→	→	→
工作機械	→	→	→
射出	→	→	→
半導体/液晶	→	→	→
AM	→	→	→

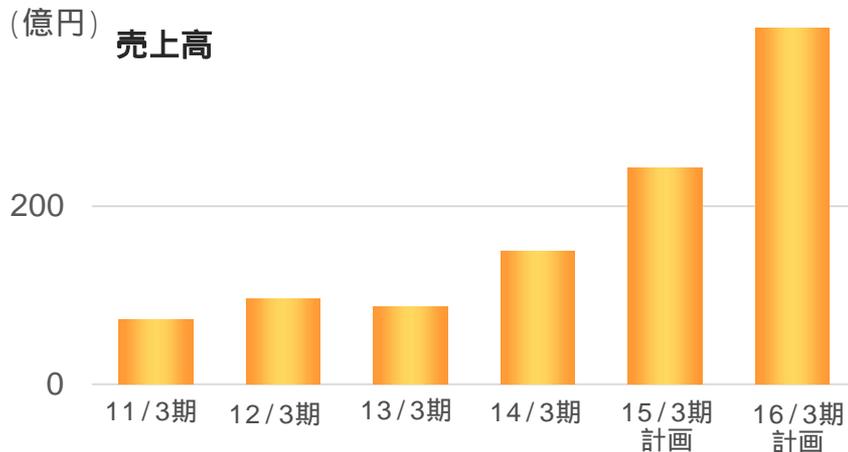
7セクターで対前年回復傾向を見込む
日本より海外での回復セクター多数
回復は力強さに欠け、スピードは緩慢



瀋陽軸受工場品 拡大



高機能標準品 (HPSシリーズ) 拡大



産業機械軸受 拡大戦略

アジアにフォーカス

瀋陽工場の最大活用

大ロット・標準品で拡大

現地調達へ切替え時のシェア拡大

メンテナンス・ビジネス

鉄鋼メーカーでの事業開始

車両・製紙に展開

アジア新興国でのAMチャンネル拡充

技術で参入・標準品で拡大

高機能標準品 (HPS) シリーズ

ラインアップ充実 現在 約6,000名番
リーダー分野 (電機・玉軸) 拡大

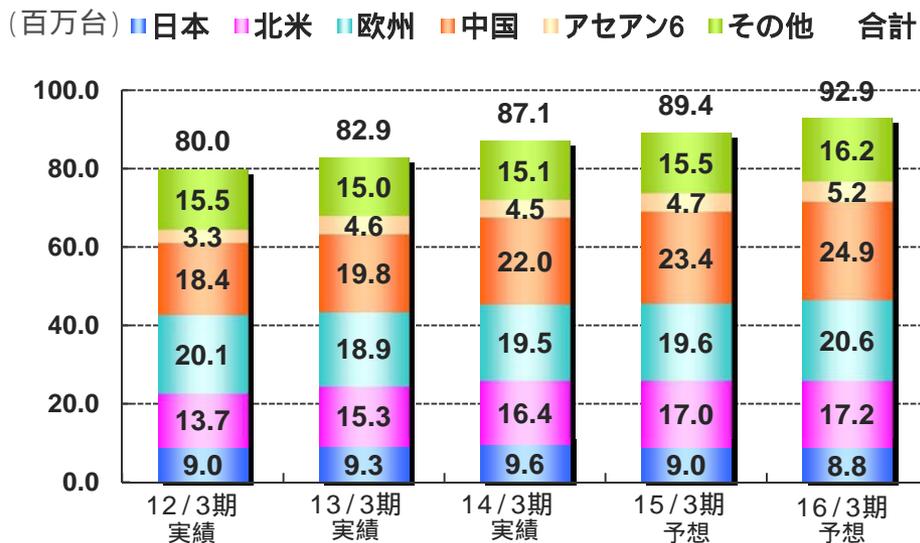
サーボモータ、医療用

チャレンジャー分野 (ころ軸) 深耕

鉱山、農機、ポンプ、風車

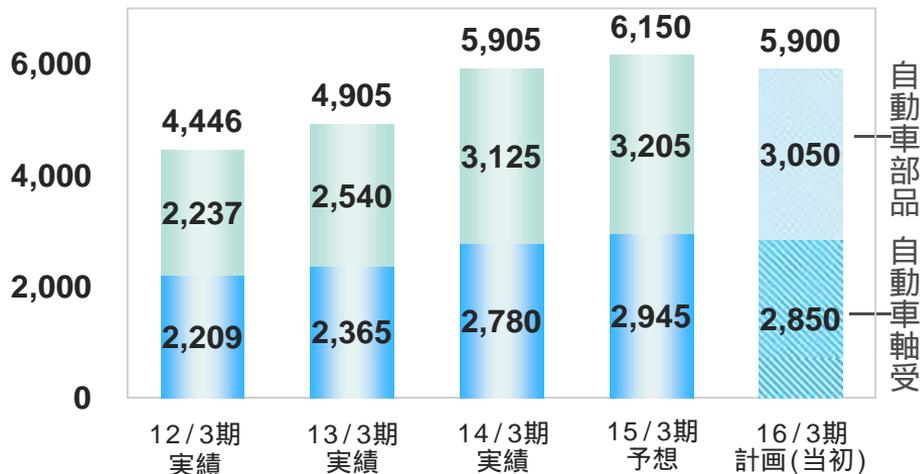
新製品・新技術、リードタイム短縮による販売支援と物量拡大による収益確保

【グローバル自動車生産台数】

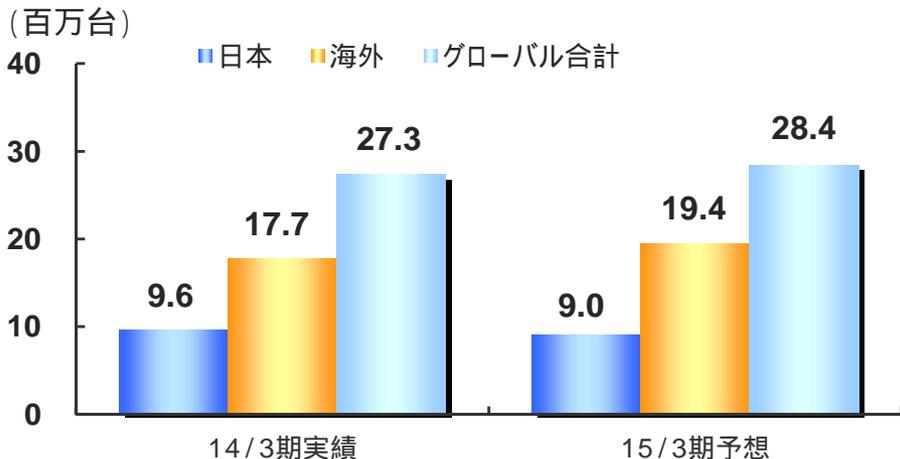


売上高

(億円)

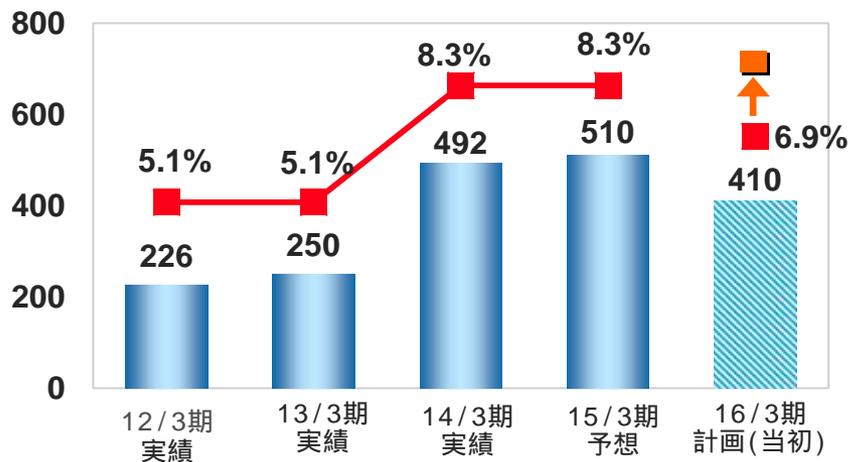


【日系自動車メーカー 生産台数】



営業利益/営業利益率

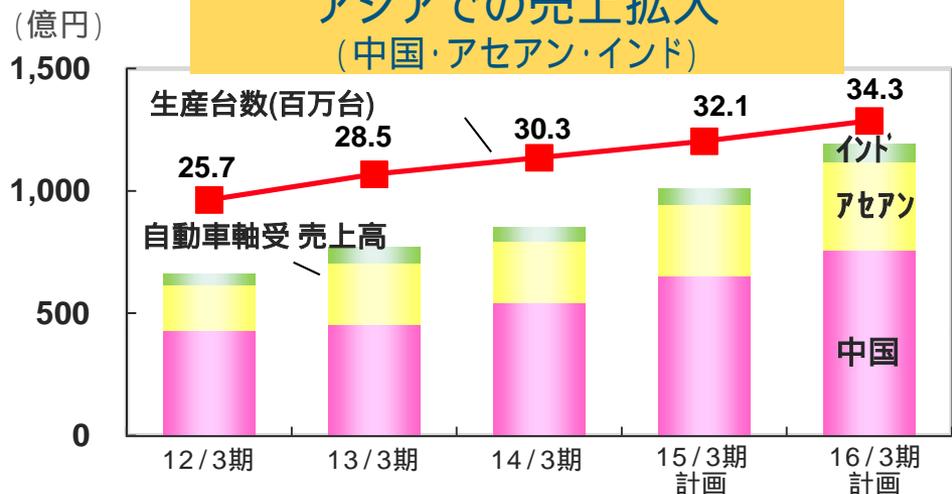
(億円)



自動車軸受

需要拡大地域での展開

アジアでの売上拡大
(中国・アセアン・インド)



生産台数の伸び以上の拡大
生産能力拡充・現調化推進継続

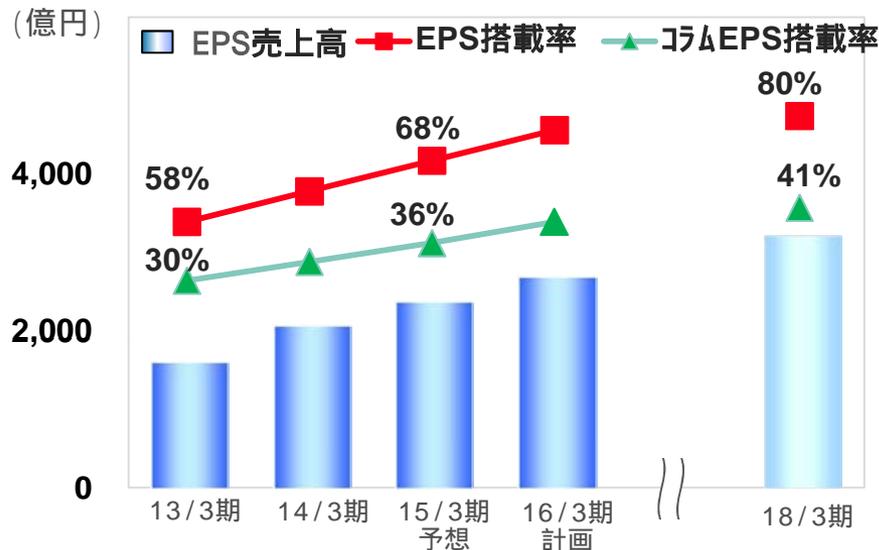
メキシコ工場稼動開始



成長地域・成長分野での拡大と収益体質の維持向上

自動車部品

電動パワステ(EPS)の拡大継続



搭載率の拡大

コラムタイプで伸長

バランスのとれた客先構成

海外で拡大

技術の海外移管と定着(製品・生産・管理)

次世代技術の開発

2015年3月期の位置付けと経営方針

中期計画最終年度目標の達成に向けた橋渡しの年
真価が問われる年

- ✓ 円安の追い風は終了
- ✓ 人件費アップを自助努力で吸収し、収益体質強化
- ✓ 産業機械：低成長の需要を前提とした事業運営
- ✓ 自動車：中長期的に厳しい競争環境・客先ニーズ前提

1兆円を支える基盤構築を継続

- ✓ 収益重視の成長と経営基盤構築の2つの柱を推進
- ✓ 安全・品質・コンプライアンス

創立100周年に向けた活動

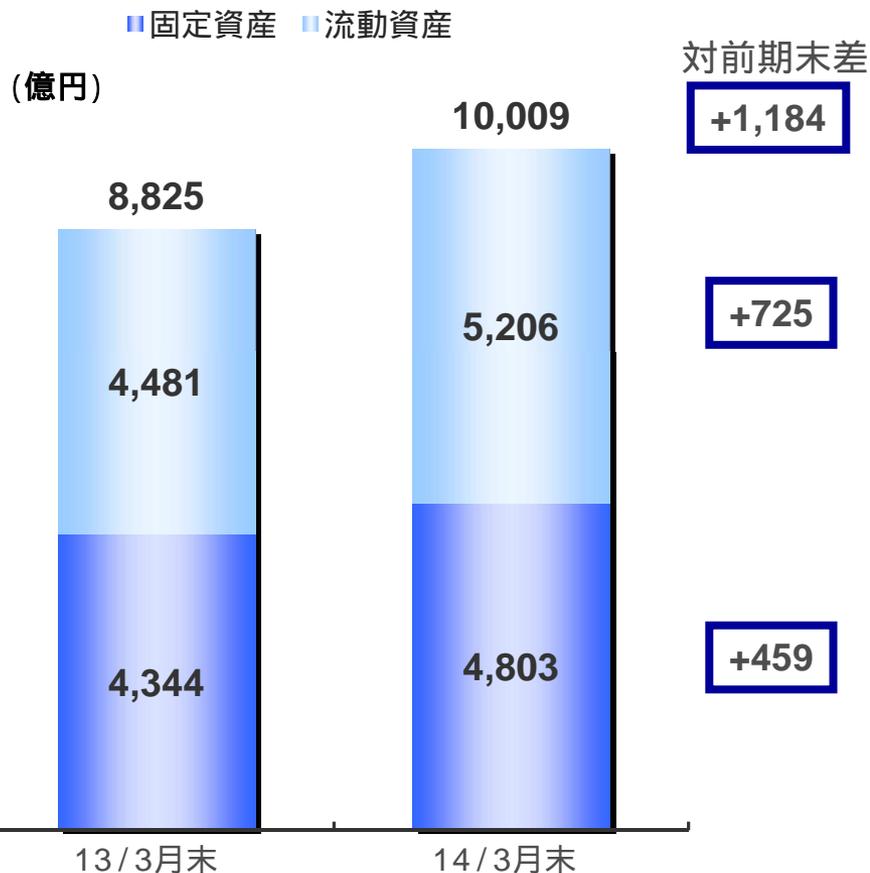
(補足資料)

(補足資料) 法人所在地別 売上高・営業利益

億円	13年3月期 実績		14年3月期 実績		15年3月期 予想	
売上高	7,328		8,717		9,100	
日本	4,924		5,122		4,940	
米州	1,023		1,324		1,430	
欧州	1,044		1,268		1,310	
アジア	1,937		2,882		3,210	
消去	-1,600		-1,879		-1,790	
営業利益	324	4.4%	680	7.8%	750	8.2%
日本	236	4.8%	384	7.5%	295	6.0%
米州	32	3.2%	60	4.5%	95	6.6%
欧州	20	1.9%	52	4.1%	80	6.1%
アジア	106	5.5%	273	9.5%	360	11.2%
消去/全社費用	-70		-89		-80	

(補足資料) 貸借対照表

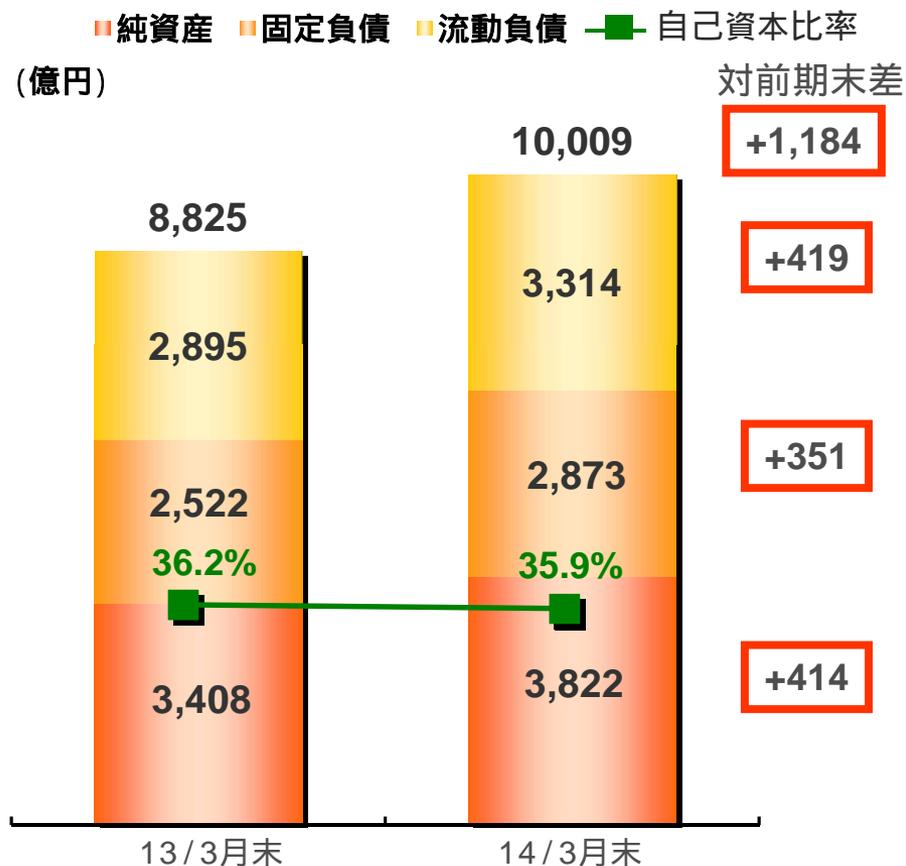
資産



94.05	102.92
120.73	141.65

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

負債 / 純資産



94.05	102.92
120.73	141.65

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

(補足資料) 設備投資 / 減価償却費 / 研究開発費

(億円)	13/3期 <実績>	14/3期 <実績>	15/3期 <予想>
設備投資	445	432	460

無形固定資産を除く

(億円)	13/3期 <実績>	14/3期 <実績>	15/3期 <予想>
償却費	324	323	350

無形固定資産を除く

(億円)	13/3期 <実績>	14/3期 <実績>	15/3期 <予想>
研究開発費	104	99	105